

【事務事業調査】

事務事業名	町中小企業融資振興対策費	予算科目 コード	会計-款-項-目-事業 001-07-01-01-0003-01-01
担当部課	建設産業部 産業課	担当 係長	商工観光係 林 博志
		事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	<p>H23事後評価 平成23年度の高根沢町中小企業融資振興資金の融資実績は、貸付件数が32件で、貸付額が1億527万円でした。平成22年度は、貸付件数67件、貸付額が2億8755万円のため、比較すると35件減、1億28万円の減でした。1月当たりの融資件数は2.6件でした。</p> <p>H25事前評価 平成25年度の高根沢町中小企業融資振興資金の融資予想は、平成24年8月末にて15件で5,533万円の貸付で平成23年度の同期と比較すると貸し付け件数は3件減、貸付額は12%の減でした。1月の平均は3件であることから、啓発を含めて40件程度を想定しています。必要不可欠な事業ではありますが、潜在的な需要があるかどうかを検証しながら一層の利便向上を図るよう、商工会と連携していきたいと考えます。</p>	<p>必要な原資を各金融機関に預託し、金融機関は3倍に資金を増やすこと(3倍協調)により中小企業の体質強化、経営改善が期待できます。</p>
実績		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
中小企業融資資金利用件数	40件		月平均3件×12ヶ月+@ (増加分) = 40件 町内中小企業の体質強化のため、円滑な融資と信用保証料を一部補助することにより資金の活用を助長する効果があります。

■事業費(計画)

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 補助金	2,000	保証料50,000×40件(信用保証料)
2 貸付金	200,000	中小企業振興資金預託(足利銀行85,000,000円、鳥山信用金庫25,000,000円、栃木銀行90,000,000円)
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	202,000	

■事業費(実績)

【単位:千円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【千円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	202,000		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	202,000		

■補助金等名:高根沢町中小企業融資信用保証料補助金(交付金)

■補助事業者等:高根沢町商工会

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	町融資制度を必要とする町内中小企業者が運転資金や設備資金等の活用を助長することで経営を安定させること一端を担うことができ、あわせて町内商工業者全体も健全なる発展に寄与することが期待できるため、町全体にも効果があると判断します。
		■町全体に波及効果が期待できる。	
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	経済を支えているのは小規模の企業あり、これらの企業の育成の促進を図るためには、景気の悪化の中でも経営を安定させることが必要不可欠であります。よってこの補助金制度は必要だと判断します。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	補助要件に明記してあるので担保しています。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	補助要件に明記してあるので担保しています。信用保証料補助については、資金の活用を助長するためには必要不可欠です。
		■予算の見積が適正である。	
5	適格性	■実施体制が明確である。	補助要件に明記してあるので担保しています。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	
合計点数		48	
総合評価		継続	